

# デジタルを、未来の 鼓動へ。**DIGITAL** HOLDINGS

東証プライム 2389

株式会社デジタルホールディングス  
2023年第2四半期決算説明会資料

# INDEX

- 1 | 歩みとこれから
- 2 | 重点施策の進捗状況
- 3 | 2023年Q2業績概要と通期業績の上方修正
- 4 | 黒字基調定着に向けて

# 1 | 歩みとこれから

# 新しい価値創造を通じて 産業変革を起こし、社会課題を解決する。

私たちは、デジタルシフトを通じて、  
“産業変革=IX：Industrial Transformation®”を目指しています。

当社は、創業以来、成長志向企業の発展に直結する  
「独自の仕組み」を提供することで、新しい価値を創造し続けています。

グループ一丸となって産業変革を推進することで、  
成長志向企業の持続的発展と、働き手の価値が正当に引き上げられる  
日本社会の実現を目指します。

5BEATSの体現者を、私たちは情熱オーナーと呼びます。  
デジタルホールディングスでは、新たな価値創造の源泉を「情熱」と捉え、  
多くの情熱オーナーの輩出を目指してまいります。



## 1. 新しい価値創造

企業の永続的存在価値は、常に新しい価値を創造し、社会に提供し続ける事にある。  
新しい価値を提供できなければ、減びていくのが自然の摂理。  
よって、常に新しい価値を創造し、産業を変革することで、未来社会の繁栄を創造する。

## 2. チャレンジ（変革し続ける）

世の中のニーズ(社会)は常に変わり続けるので、我々が、提供するサービス(事業)も  
常に代わり続けなければならない。最大の失敗は挑戦しないことである。

## 3. 楽天主義（プラス思考）

新しい価値創造にチャレンジし、常に変革し続けるには、大きな既成概念の壁や抵抗勢力を乗り越えねばならない。  
そんな時にできない理由を列挙するのではなく、  
「どうすればできるか？」を常に自問自答し、プラス思考で道を切り開いてこそ、道は開ける。

## 4. 先義後利

先ず義ありて、後に利あり。貢献すれば利益は後から自然とついてくる。  
まずは社会のためを考え貢献することを優先する。

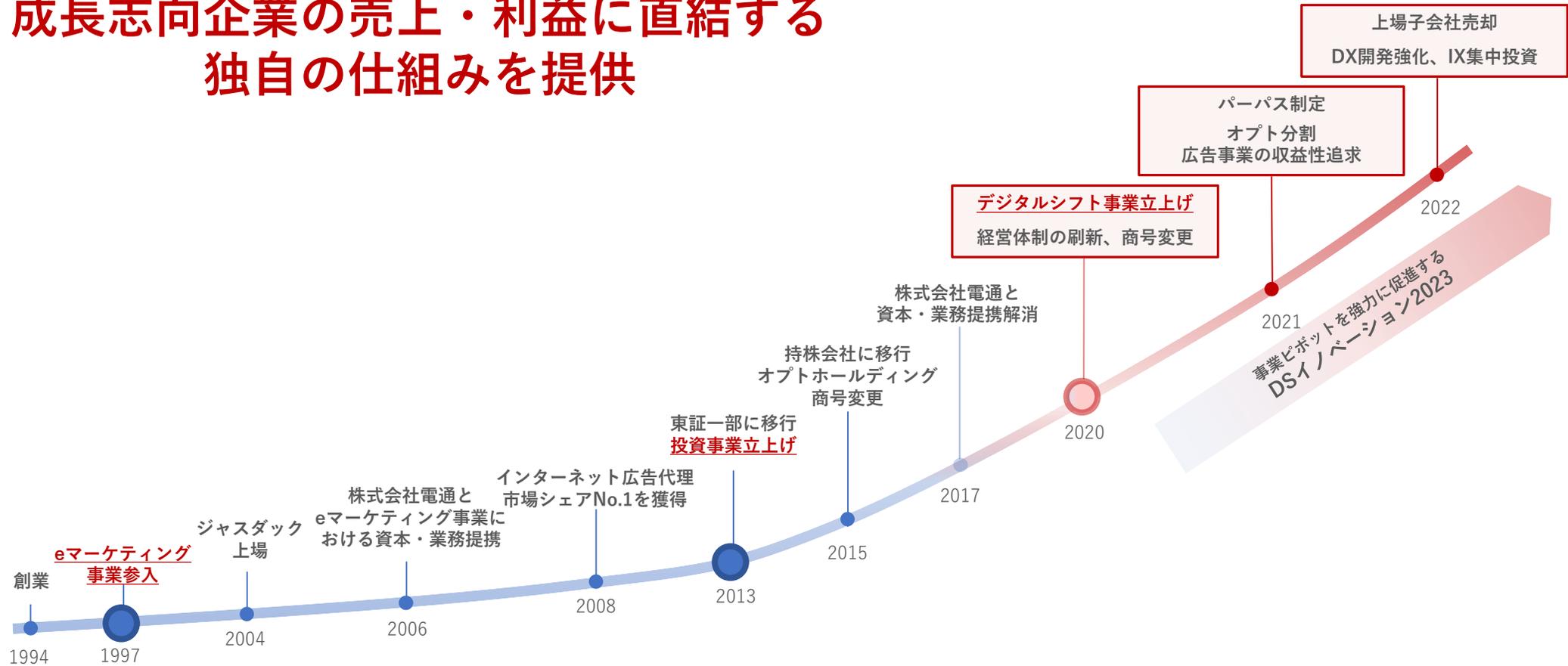
## 5. 一人一人が社長（社員の幸せ＝自立）

社員の幸せを定義するなら、「自立」とする。職業的にも、経済的にも、精神的にも3つの自立を持って真の自立人材となる。  
社員は常に成長意欲を持ち、自己投資し続ける。自発的、能動的にイキイキ働く社員は自ずと幸せとなる。  
そのような自立人材の集合体こそ、最強の組織である。会社は社員を従属させる存在ではなく、  
社員の成長を後押しする環境を提供するプラットフォームであり、全員がイコールパートナーでありたい。

# 歩みと変わらぬ想い

創業からの変わらぬ想い：

## 成長志向企業の売上・利益に直結する 独自の仕組みを提供

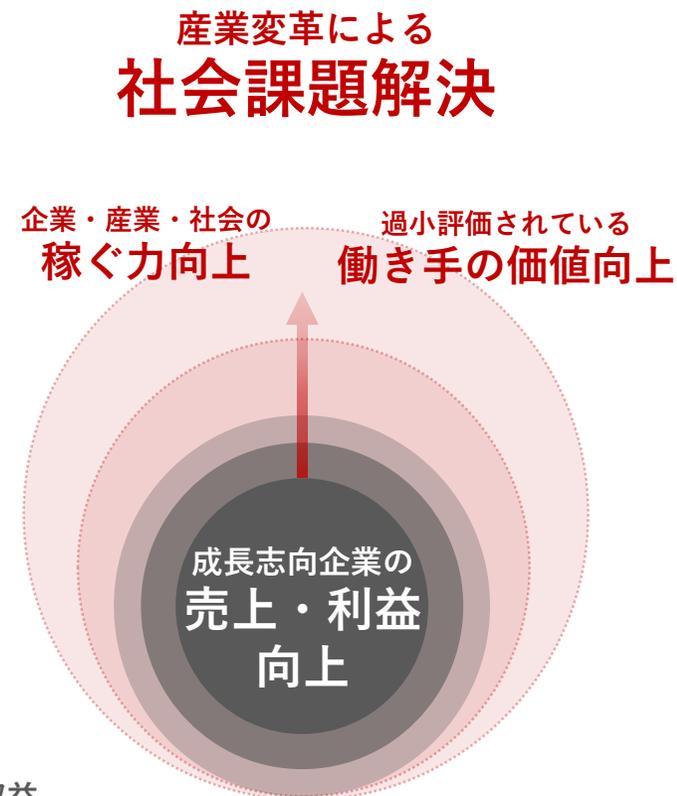
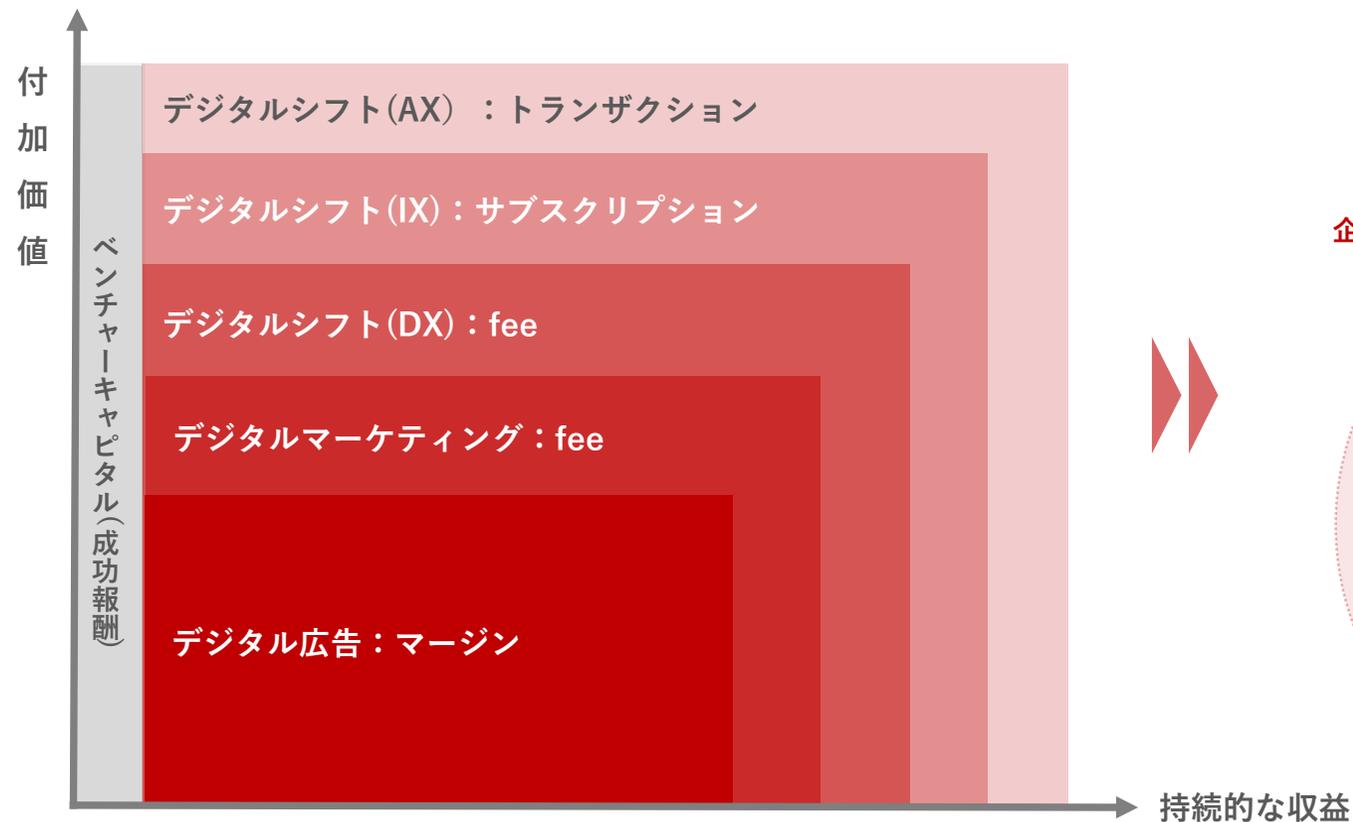


課題解決人材×ROIを追求したマーケティング関連データ×パートナー \*

\*パートナー：取引先、メディア、プラットフォーム

## 私たちの事業と収益モデル

## 私たちのパーパス



変わらぬ想い：成長志向企業の売上・利益に直結する独自の仕組みを提供

\* DX : Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)  
\* IX : Industrial Transformation (産業変革)  
\* AX : Advertising Transformation (広告産業の変革)

## 広告事業

### デジタル広告支援

デジタル広告支援  
ソリューション開発・販売

## デジタルシフト事業

### DX：個社DX支援

開発・マーケ

### IX：産業特化型支援

産業特化型  
Vertical SaaS

AX：  
広告産業変革  
(BNPL)

## 金融投資事業

### 経営・資金支援

ハンズオン型  
ベンチャーキャピタル  
投資・支援

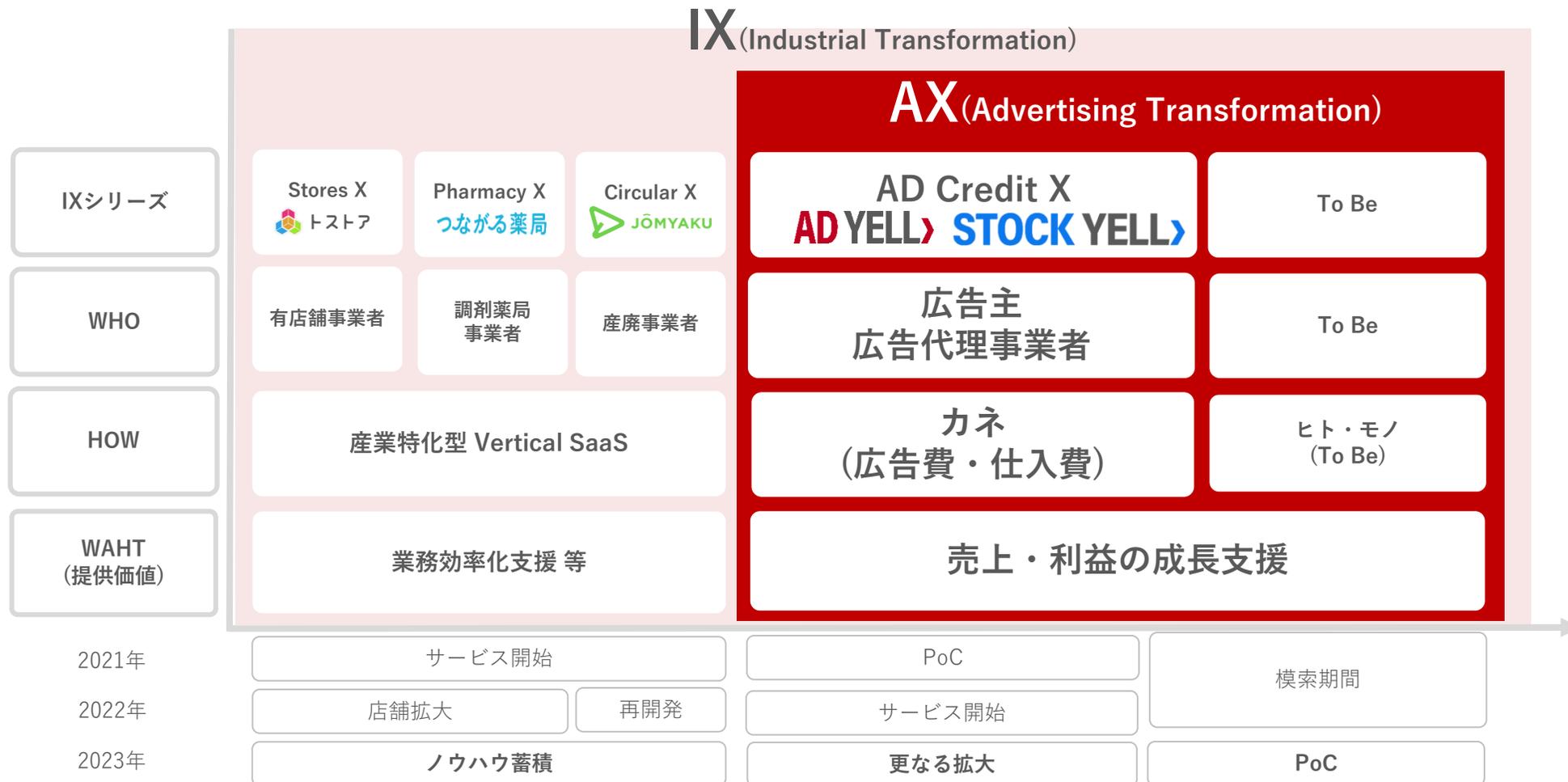
- \* DX：Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）
- \* IX：Industrial Transformation（産業変革）
- \* AX：Advertising Transformation（広告産業の変革）
- \* BNPL：Buy Now, Pay Later（後払い式の決済手段）

## 2 | 重点施策の進捗状況

# 2023年 重点施策①広告産業変革(AX)立上げ



## AD YELLの広告投資効果の予測モデルを応用した STOCK YELLを2023年Q3から提供開始



## 創業来ROIを追求し続けたノウハウ・データをもとに独自の与信モデルを構築 運転資金を圧迫しない広告費に特化したBNPLサービス<sup>\*1</sup>

### ビジネスモデル

三菱UFJフィナンシャル・グループと協働



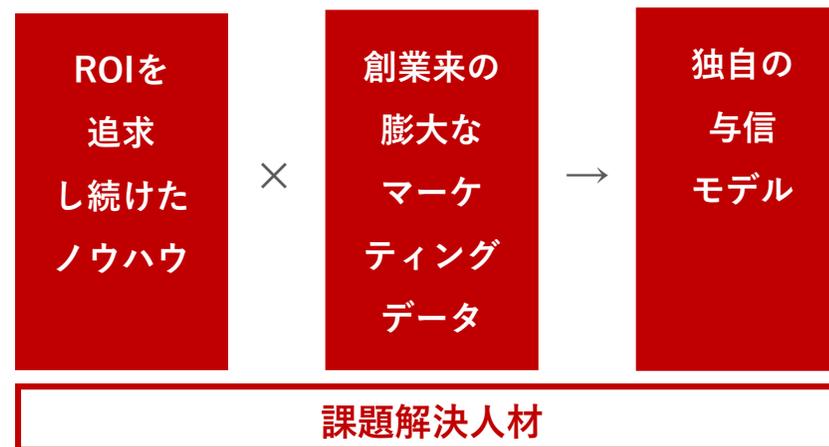
提携

\* サービス提供の流れのイメージとなりますため、実際のビジネススキームとは異なります



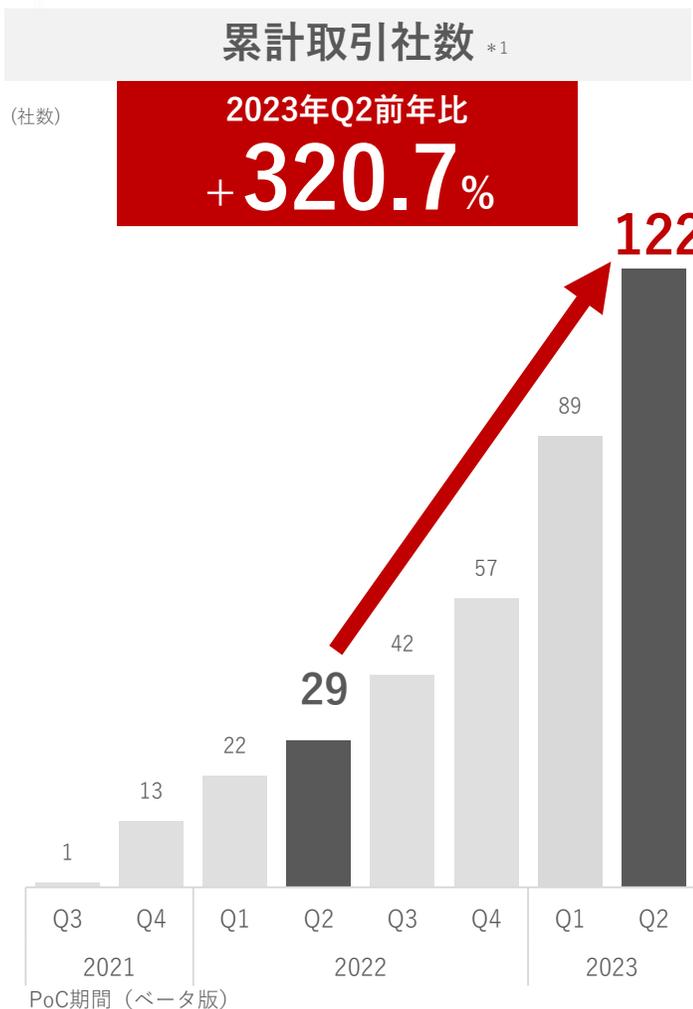
### 私たちの強み

成長企業の売上・利益につながる支援

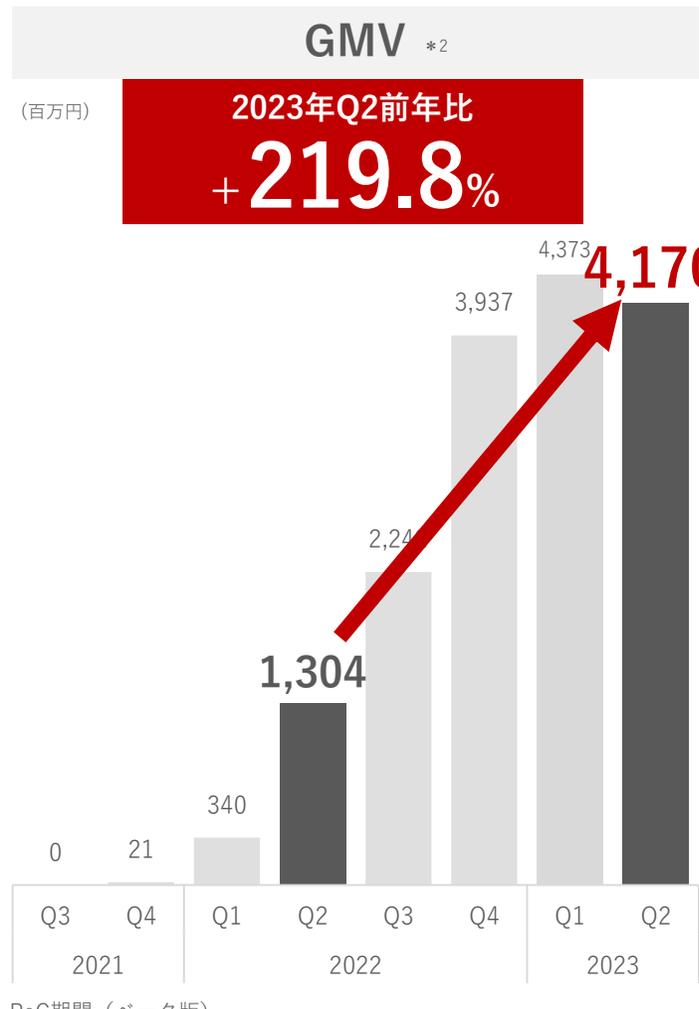


\*1：後払い式の決済手段「Buy Now, Pay Later」の略。信用調査が簡易なため、欧米・若年層を中心に市場の広がりがつづき、今後、さらなる市場規模の拡大が予測されており、BtoB向けサービスの広がりも注目を集めている  
 \*2：当社100%子会社、2021年1月子会社設立  
 \*3：AD YELL概要 <https://vankable.co.jp/lp/>

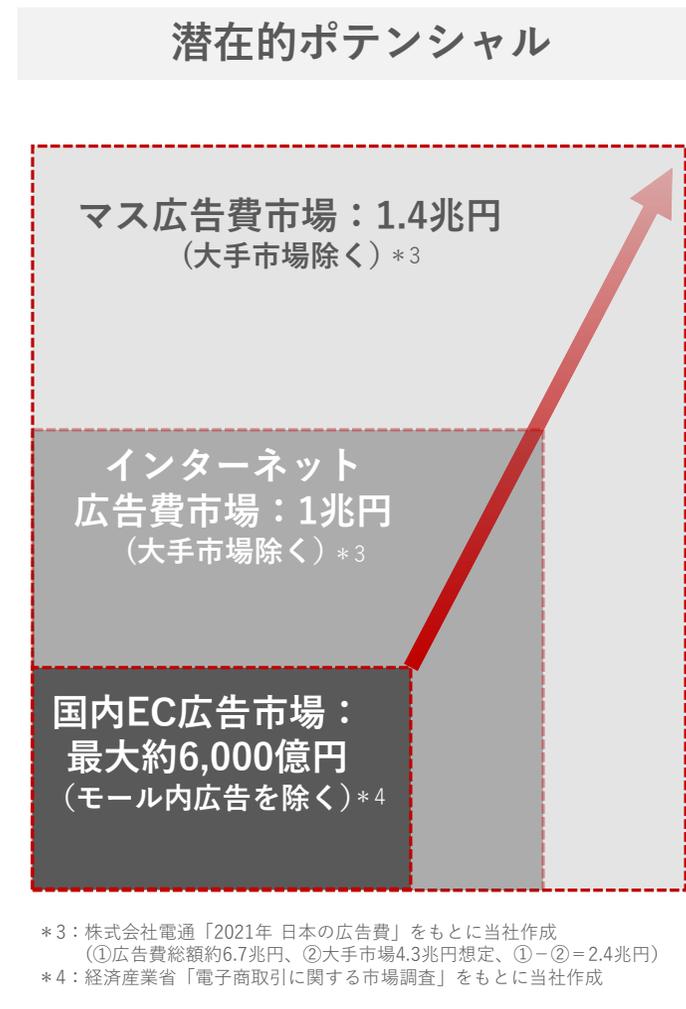
## 取引社数拡大に注力の結果、Q2も引き続き取引社数増加



\*1：申込みと枠の発行が完了している四半期末時点における累計取引社数

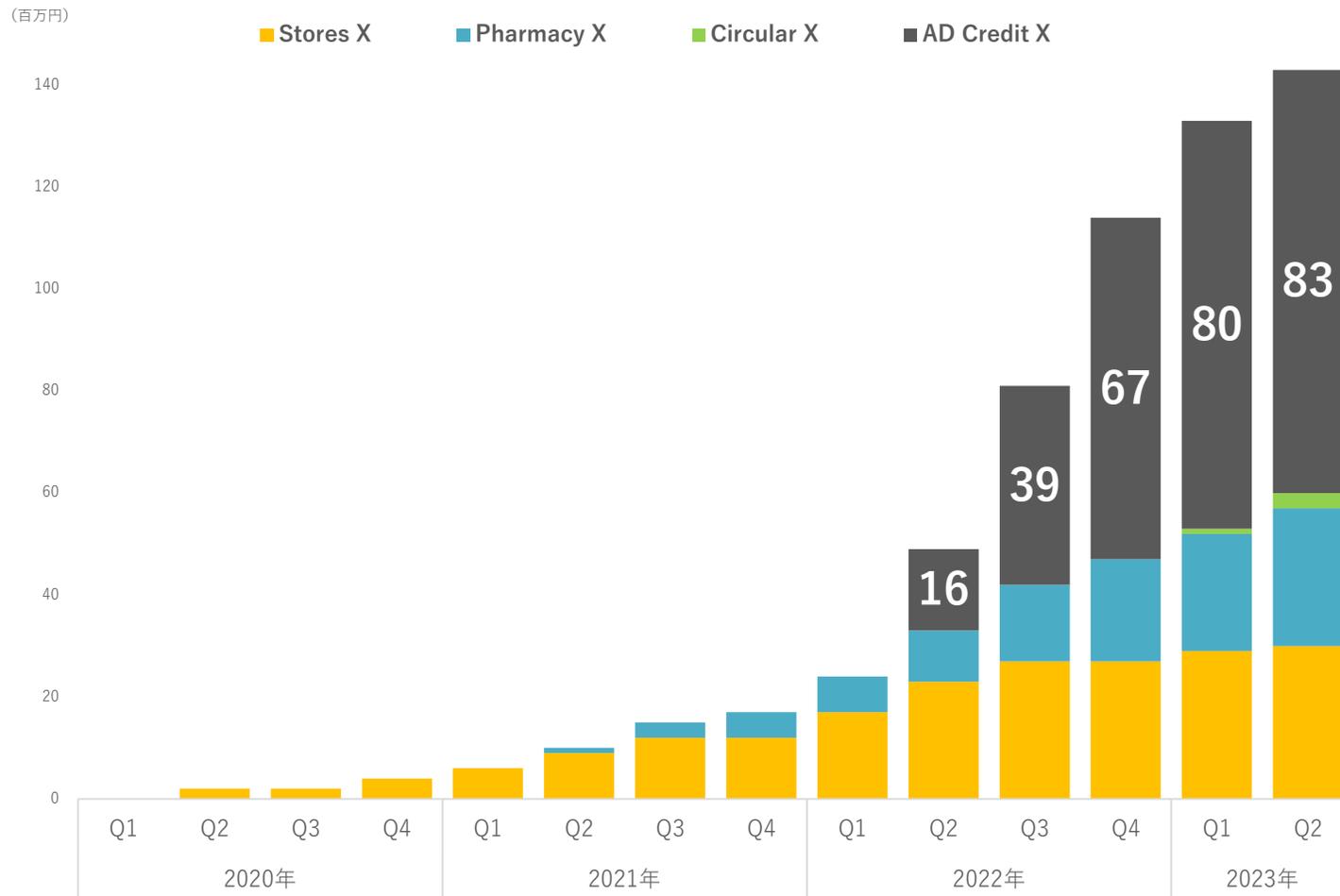


\*2：Gross Merchandise Valueの略、AD YELL経由で取引されている広告費総額



\*3：株式会社電通「2021年 日本の広告費」をもとに当社作成  
(①広告費総額約6.7兆円、②大手市場4.3兆円想定、①-②=2.4兆円)  
\*4：経済産業省「電子商取引に関する市場調査」をもとに当社作成

## IX 四半期売上高推移



IXQ2売上高 前年比  
**+183.8%**

\* IX : Industrial Transformation (産業変革)  
 \* Stores X : Stores Transformation (有店舗事業産業のデジタルトランスフォーメーション)  
 \* Pharmacy X : Pharmacy Transformation (調剤薬局産業のデジタルトランスフォーメーション)  
 \* Circular X : Circular Transformation (循環型産業におけるデジタルトランスフォーメーション)  
 \* AD Credit X : Credit For Ad Transformation (広告費支払いのデジタルトランスフォーメーション)

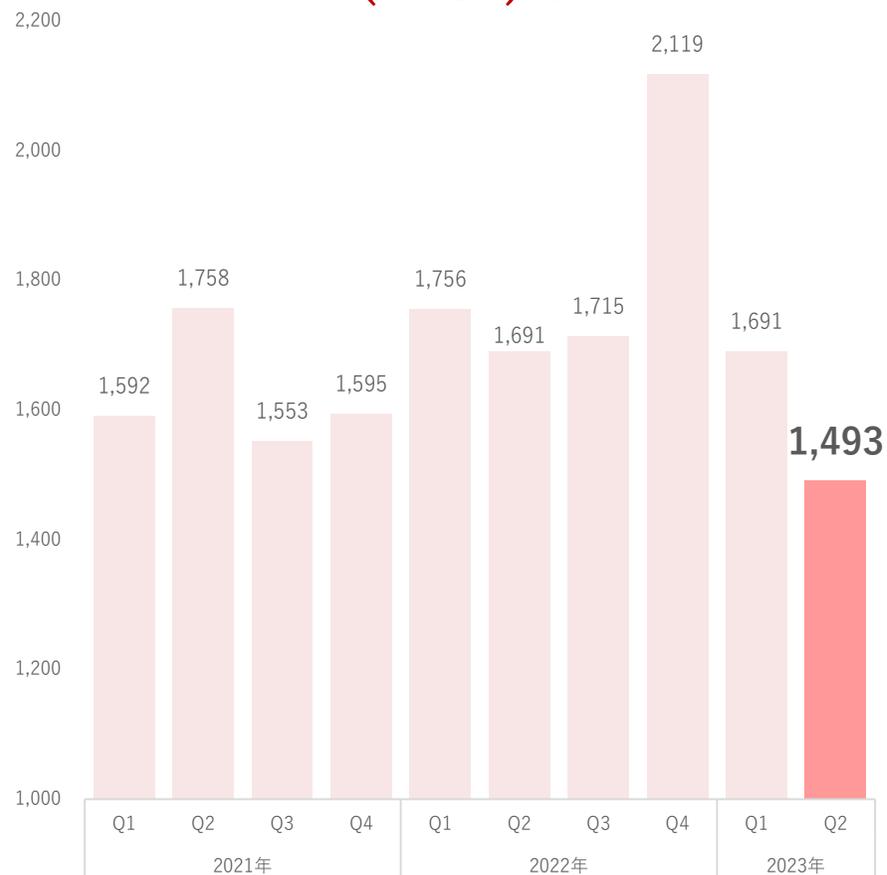
## 2023年 重点施策②DXの持続的な拡大



## DX 売上高

2023年Q2 前年比  
**(11.7)%**

(単位：百万円)

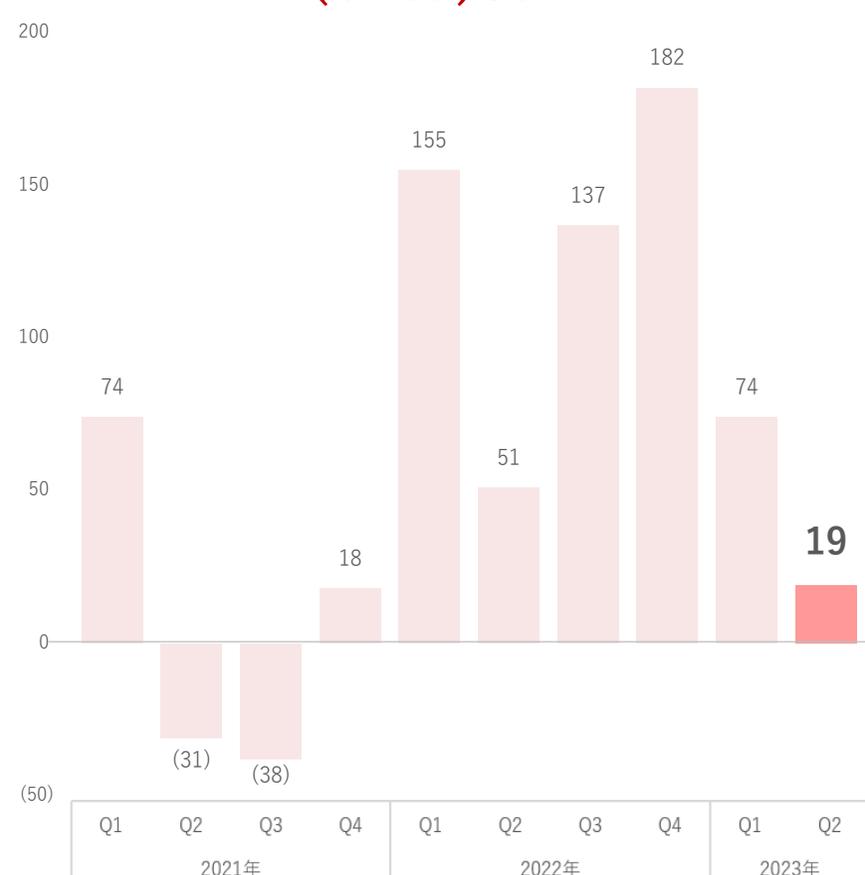


\* DX : Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)

## DX 営業利益

2023年Q2 前年比  
**(61.3)%**

(単位：百万円)



Copyright 2023 DIGITAL HOLDINGS, INC. All Rights Reserved.

# 2023年 重要指標



# 足元状況を踏まえ軌道修正、重要指標の目標値を見直し

IX売上拡大に加え、DXはQ4以降需要取り込みにより、前年実績は上回る見込み

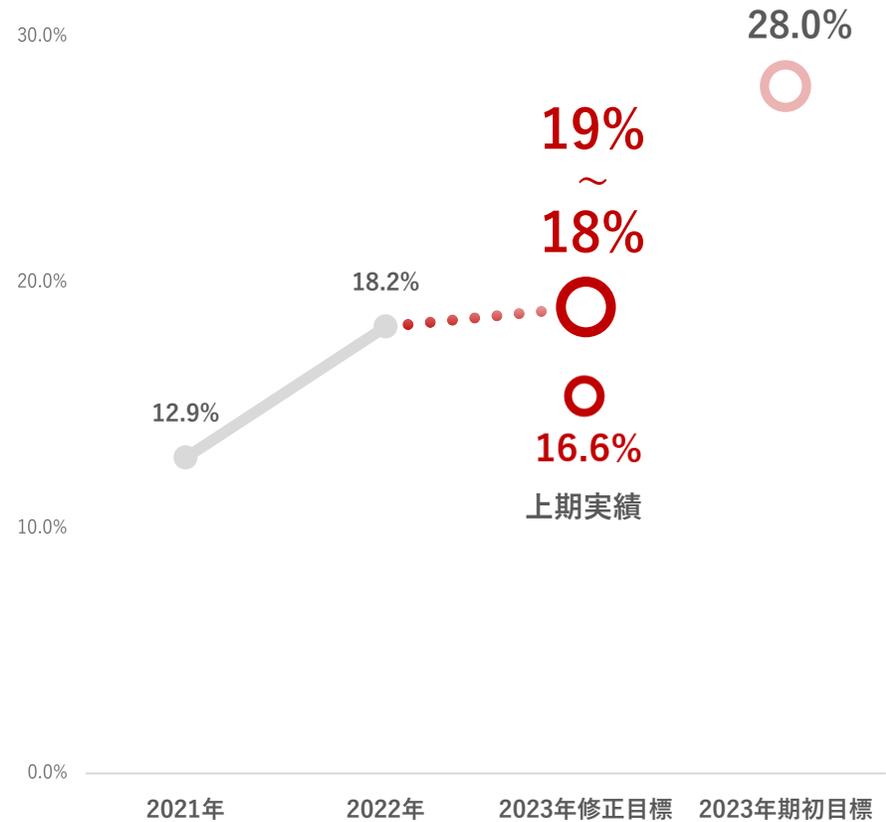
デジタルシフト事業 売上総利益 \*

(百万円)



デジタルシフト事業 粗利構成比 \*

(%)



\* 重要指標:

金融投資事業を除く連結売上総利益と金融投資事業を除く連結売上総利益に対するデジタルシフト事業の売上総利益の割合

過去実績は事業再編に係り2022年Q2から連結除外となった子会社及び金融投資事業を除く数値を表記 (連結範囲変更についてはP46) Copyright 2023 DIGITAL HOLDINGS,INC. All Rights Reserved.

創業からの変わらぬ想い：

**成長志向企業の売上・利益につながる  
独自の仕組みを提供**

**産業変革(IX)による社会課題解決**

(働き手の価値と企業・産業・社会の稼ぐ力の向上)

広告産業変革(AX)  
の挑戦

AD Credit X  
垂直立上げ

DX 第二の収益柱

広告事業 収益性改善と安定維持

課題解決人材×ROIを追求したマーケティング関連データ×パートナー

- \*パートナー：取引先、メディア、プラットフォーム
- \*DX：Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)
- \*AD Credit X：Credit For Ad Transformation (広告費支払いのデジタルトランスフォーメーション)
- \*AX：Advertising Transformation (広告産業の変革)
- \*IX：Industrial Transformation (産業変革)

### 3 | 2023年Q2業績概要と通期業績の上方修正

# 2023年Q2連結業績概要

(単位：百万円)	2023年Q2			2023年上期		
	実績	調整後 前年比 <sup>*1</sup>	調整後 前年実績	実績	調整後 前年比 <sup>*1</sup>	調整後 前年実績
収益	<b>3,415</b>	<b>+5.7%</b>	3,231	<b>6,771</b>	<b>+4.9%</b>	6,457
売上総利益	<b>2,410</b>	<b>+7.8%</b>	2,235	<b>4,712</b>	<b>+4.5%</b>	4,507
営業利益	<b>(211)</b>	<b>+81</b>	(292)	<b>(561)</b>	<b>(66)</b>	(495)
EBITDA	<b>(50)</b>	<b>+202</b>	(252)	<b>(274)</b>	<b>+39</b>	(313)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>(160)</b>	<b>(154)</b>	(5)	<b>(379)</b>	<b>(240)</b>	(138)
ROE(LTM) <sup>*2*3</sup>	<b>(1.4)%</b>	-	-	<b>(1.4)%</b>	-	-
フリーキャッシュフロー	-	-	-	<b>(3,410)</b>	-	-
EPS (円)	<b>(9.20)</b>	-	-	<b>(21.7)</b>	-	-
(ご参考) 売上高	<b>14,949</b>	<b>+1.8%</b>	14,688	<b>31,286</b>	<b>+5.4%</b>	29,682

\*1：2022年Q2からの連結範囲変更に伴い、同基準で過去遡及した前年実績に対する前年比を表記（連結範囲変更についてはP46）

\*2：ROE=親会社株主に帰属する当期純利益(LTM) ÷ 算定期間中の自己資本期首期末平均

\*3：LTM=Last Twelve Months(直近四半期末から過去12ヶ月)

# 2023年Q2事業別業績概要

広告事業	デジタルシフト事業	金融投資事業
デジタル広告支援	DX：個社DX支援	経営・資金支援
デジタル広告支援 ソリューション開発・販売	開発・マーケ	ハンズオン型 ベンチャーキャピタル 投資・支援
	IX：産業特化型支援	
	産業特化型 Vertical SaaS	
	AX： 広告産業変革 (BNPL)	

## IX成長投資方針見直し、AXにフォーカス

(単位：百万円)	2023年Q2			2023年上期		
	実績	調整後 前年比	調整後 前年実績	実績	調整後 前年比	調整後 前年実績
収益	1,076	+5.7%	1,018	2,229	+5.4%	2,114
売上総利益	343	+16.3%	295	741	+13.3%	654
販売管理費	(516)	(11.9)%	(461)	(1,173)	(30.0)%	(902)
営業利益	(173)	(6)	(166)	(432)	(183)	(248)
EBITDA	(126)	+23	(150)	(348)	(124)	(224)
(ご参考) 売上高	1,627	(5.3)%	1,717	3,450	(1.4)%	3,499

\* 調整後：2022年Q2からの連結範囲変更に伴い、同基準で過去遡及した前年実績に対する前年比を表記（連結範囲変更についてはP46）

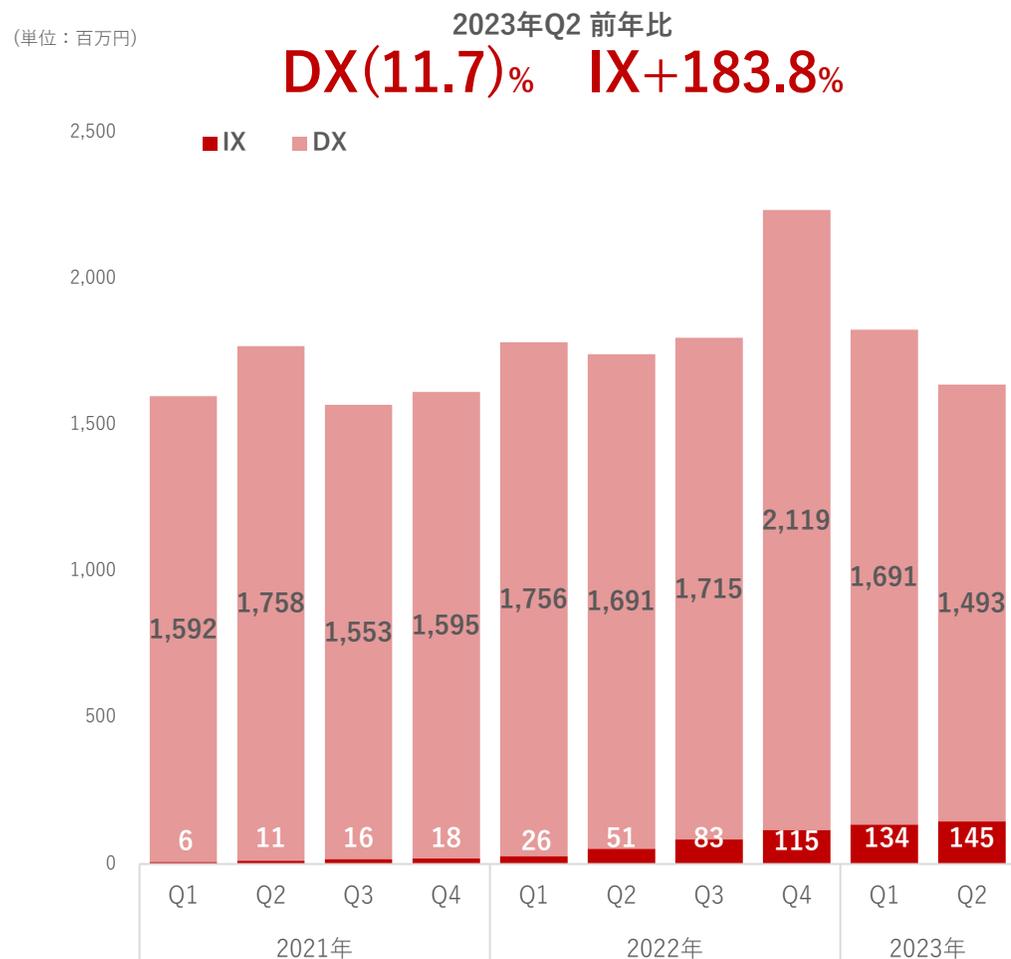
\* 営業利益/EBITDA：HD管理コスト配賦前数値

\* IX：Industrial Transformation（産業変革）

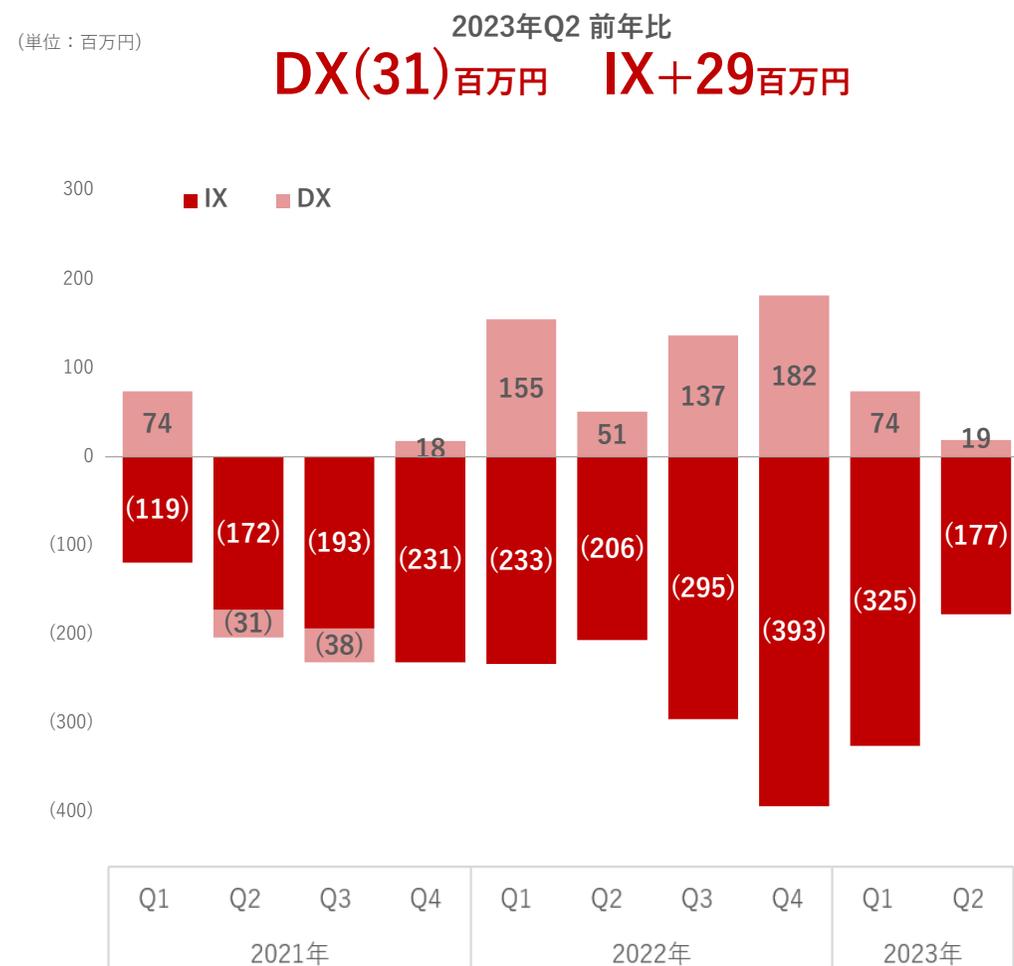
\* AX：Advertising Transformation（広告産業の変革）

# デジタルシフト事業：IX売上拡大、赤字幅縮小基調へ

## 売上高



## 営業利益



\*セグメント内消去考慮前数値  
 \*DX：Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）  
 \*IX：Industrial Transformation（産業変革）

## 一部顧客要因を受けるも健闘、通期見通しは想定通り進捗中

(単位：百万円)	2023年Q2			2023年上期		
	実績	調整後 前年比	前年実績	実績	調整後 前年比	前年実績
収益	1,966	(5.8)%	2,086	4,200	+1.4%	4,142
売上総利益	1,777	(1.7)%	1,808	3,725	+1.9%	3,655
販売管理費	(1,349)	(12.6)%	(1,198)	(2,601)	(6.9)%	(2,433)
営業利益	427	(29.9)%	609	1,123	(8.1)%	1,222
EBITDA	475	(27.8)%	657	1,221	(8.9)%	1,340
(ご参考) 売上高	12,949	+0.6%	12,870	27,497	+5.6%	26,041

\* 調整後：2022年Q2からの連結範囲変更に伴い、同基準で過去遡及した前年実績に対する前年比を表記（連結範囲変更についてはP46）

\* 営業利益/EBITDA：HD管理コスト配賦前数値

## 市況回復により想定以上に好調、グループの成長資金を継続確保

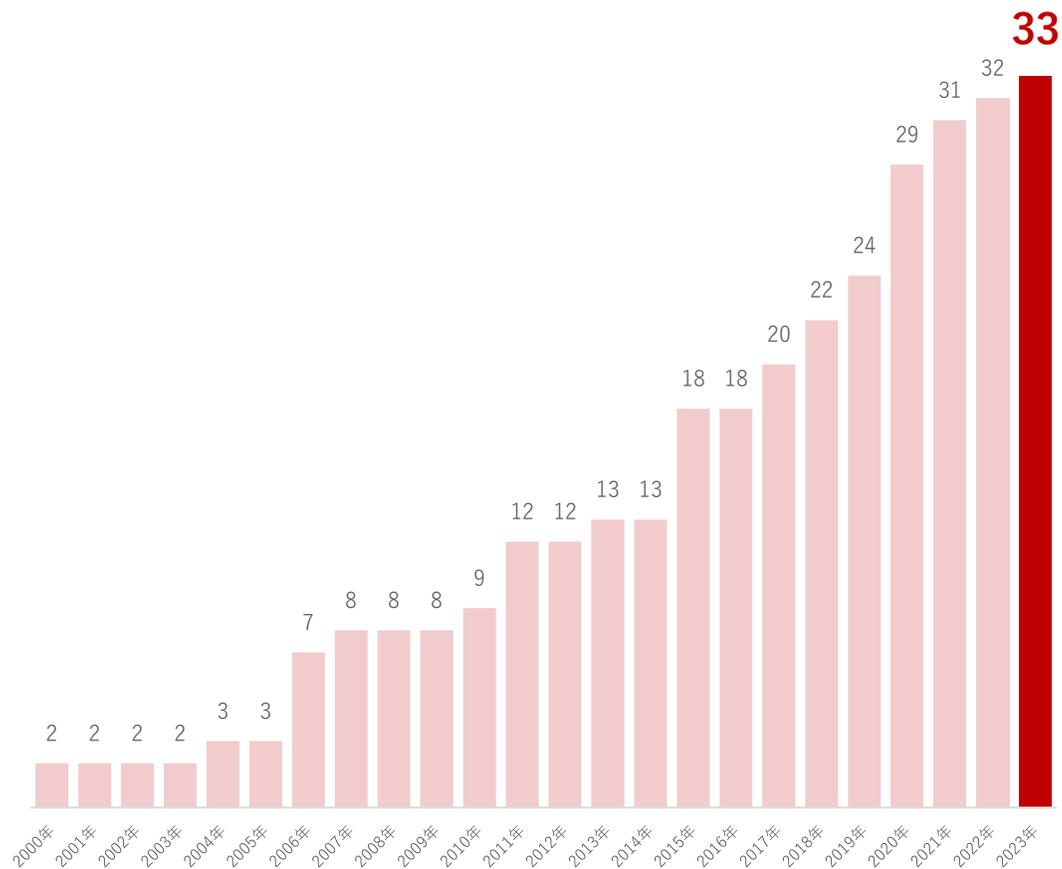
(単位：百万円)	2023年Q2			2023年上期		
	実績	前年比	前年実績	実績	前年比	前年実績
収益	<b>393</b>	<b>+147.1%</b>	159	<b>395</b>	<b>+71.5%</b>	230
売上総利益	<b>294</b>	<b>+113.0%</b>	138	<b>253</b>	<b>+32.5%</b>	191
販売管理費	<b>(34)</b>	<b>+25.5%</b>	(53)	<b>(78)</b>	<b>+35.9%</b>	(104)
営業利益	<b>259</b>	<b>+207.1%</b>	84	<b>175</b>	<b>+102.7%</b>	86
EBITDA	<b>266</b>	<b>+488.1%</b>	45	<b>239</b>	<b>+171.6%</b>	88
(ご参考) 売上高	<b>393</b>	<b>+147.1%</b>	159	<b>395</b>	<b>+71.5%</b>	230

\* 営業利益/EBITDA：HD管理コスト配賦前数値

## 良質な投資実績に加え、環境も大幅好転、継続的に利益を確保

### IPO累計実績

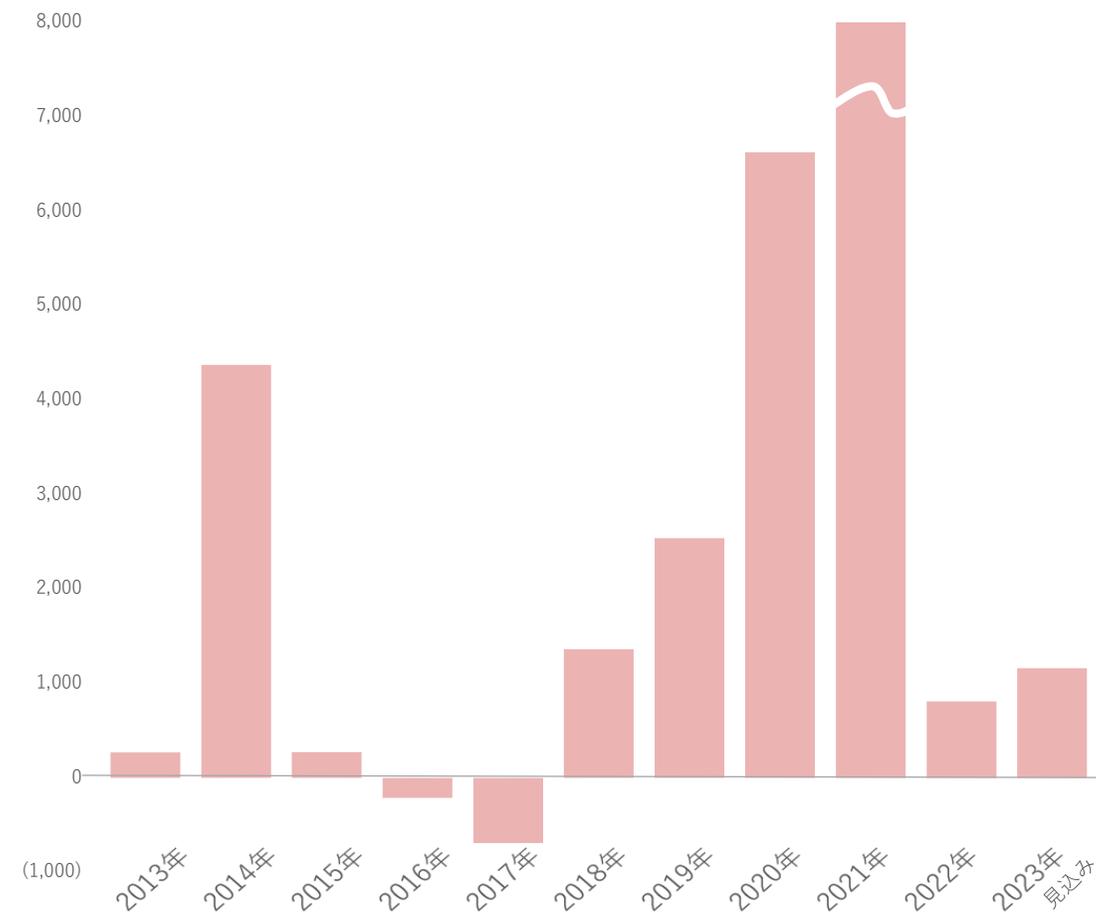
(社数)



### 事業化後の貢献利益

\*金融投資事業の税前利益

(百万円)



金融投資事業が想定以上に好調  
現時点で合理的に見積もれる範囲で上方修正、更なる上積みを目指す

(百万円)	修正後 連結業績予想	前回予想比		前年比		修正前 連結業績予想
		増額	%	調整前	調整後	
収益	16,600	-	-	(924)	+496	16,600
営業利益	<b>210</b>	<b>+210</b>	-	+657	+564	±0
EBITDA	<b>1,410</b>	<b>+910</b>	<b>+182.0%</b>	(8,573)	+308	500
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>220</b>	<b>+220</b>	-	(5,499)	+432	±0
(ご参考) 売上高	66,000	-	-	(3,459)	2,439	66,000

\* 調整後：2022年Q2からの連結範囲変更に伴い、同基準で過去遡及した前年実績に対する前年比を表記（連結範囲変更についてはP46）

\* 2023年Q3に営業投資有価証券の売却益を計上する見込みとなりました。

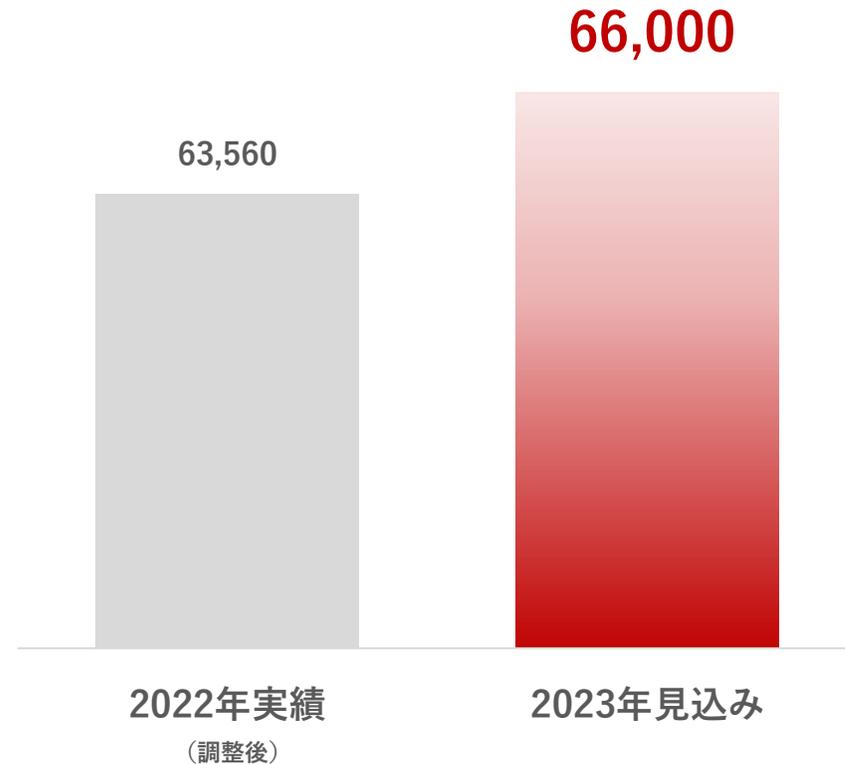
詳細につきましては、本日公表の「営業投資有価証券の売却益計上に関するお知らせ」をご高覧ください。

## 今期連結業績黒字見通し、継続的に増収増益へ

来期は金融投資事業損益以外の事業損益も大幅改善見通し、継続的な黒字定着へ

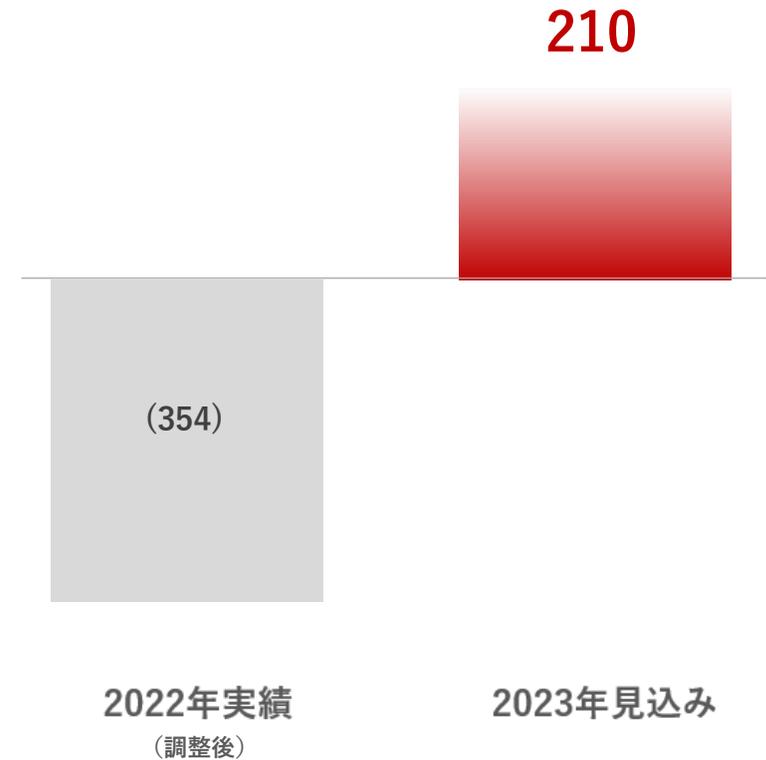
## 連結売上高

(百万円)



## 連結営業利益

(百万円)



2024年3月に創業30周年を迎えます

株主の皆様をはじめとするすべての関係者の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます

これまでご支援いただきました株主の皆様にご感謝の意を表するため

1株当たり30円の記念配当を実施します

今後もグループ一丸となり、更なる企業価値向上に向け尽力して参りますので

ご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます

\* 記念配当は期末配当となります。普通配当につきまして、今後の業績動向を慎重に鑑み、適切なタイミングでお知らせいたします。  
詳細につきましては、本日公表の「創業30周年記念配当（特別配当）に関するお知らせ」をご高覧ください。

## 4 黒字基調定着に向けて

- AXへのフォーカスと大幅な構造改革
- 広告事業とデジタルシフト事業の増収増益基調に
- 金融投資事業の継続的な利益創出

デジタルを、未来の  
鼓動へ。**DIGITAL**  
HOLDINGS